



北方領土返還要求運動
シンボルの花「千島桜」

26 北見市立東陵中学校（北見市）

○開催日時 平成26年2月7日（金）
13:25～14:15

○対象者 中学1～3年生（296名）



語り部講師：武田 勝三 氏（択捉島出身）

☀ 講話のあらまし ☀

- ・ 択捉島入里節（いりりぶし）の豊かな自然環境、島の主な産業、人々の生活ぶり、終戦後にソ連軍が島を不法に占拠した様子や強制送還された体験について、北方領土の歴史を織り交ぜ、北方領土に対する理解や認識を深めてもらうとともに、生徒達に北方領土への関心を持ち続けることの大切さを呼びかけた。

■ 児童・生徒からの感想 ■

- ・ ロシアが現在どのような主張で北方領土にいるのかが気になった。
- ・ 北方領土は、今更どうこういうべきものではないと思います。どこの国の物かではなく、共生という術を考えたらいいと思う。
これからの日ロ関係にも利点があると思います。誰のものでもなく、全人類の財産であると考えべきだと思います。
- ・ 北方領土の長年の歴史がわかった。若い人達も沢山北方領土のことを知った方がいい。
- ・ 北方領土が日本の島に戻るように北方領土返還要求運動に署名したいと思うようになりました。
- ・ 北方領土と聞いて、今までは余り知らなかったけれど、話を聞いて、昔は、苦労してきたことや引き継いできた人のためにも引き継いでいかないといけないと思った。



【先生から・・・】

- ・ 島民の方がかなり高齢となった今、北方領土問題について再考するのを感じます。これらの矛盾を抱えながらこの問題に授業で扱う難しさを痛感しました。